

「子どもの けんりじょうやく」 30年によせて  
～おおさかふきょういくちょうからの メッセージ～

みなさんは「子どもの けんりじょうやく」をしていますか？

1989年にせかいのくにがはなしあい、きめてから、ことしは30年です。25年まえには、日本もこのじょうやくのなかまになりました。

このじょうやくは、196のくにがなかまになっています。そして、子どものくらしをよくするためにがんばっています。もちろんおおさかにすんでいるみなさんにもたいせつなものです。

このじょうやくのだいじなところをいいます。先生やおうちの人といっしょに、「けんり」や「じゆう」がちゃんとまもられているか、かんがえてみてください。

- ① 生きるけんり。これは、びょうきになっても、ちりょうをうけられることです。
- ② そだつけんり。これは、べんきょうしたりあそんだりするけんり、じぶんでじぶんのことをきめるけんりのことです。
- ③ まもられるけんり。これは、しょうがいのある子どもやしょうすうみんぞくの子どもをはじめ、すべての子どもがひどいことをされないけんりのことです。
- ④ さんかするけんり。これは、じゆうにいけんを言ったり、はなしをしたりするけんりのことです。

このじょうやくにあるけんりは、みなさん一人ひとりがもっています。わたしたちはみなさん一人ひとりのことをとてもたいせつにおもっています。学校生かつの中で、みなさん一人ひとりがたいせつにされ、そして、ほかのひとをたいせつにしながら、あんしんしてすごし、じぶんらしくせいちょうできるよう、おうえんしつづけていきます。

べんきょうがわからない、ともだちやきょうだいとうまくいかない、学校にいくのがしんどい。いろいろななやみがあるとおもいます。

もし、あなたがなやんでいたら、そんなときは、一人だけでなやまないで、先生やおとなにそうだんしてください。ただし、インターネットなどでしりあったおとなにたよることはあぶないので、ぜったいにしないでください。

おわりに、わたしは、おおさかふのきょういくちょうとして、また、おとなたちのだいひょうとして、みなさん一人ひとりのために、「子どものけんりじょうやく」をたいせつにしていくことをちかいます。

2019年12月10日

おおさかふきょういくちょう さかい たかゆき